

危険物新聞

第 690 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会
 編集 三好 治 雄
 発行人 大阪府危険物安全協会
 大阪市西区新町 1 丁目 5 番 7 号
 四ツ橋ビル
 TEL 06(6531) 9 7 1 7・5 9 1 0
 定価 1 部 60円

平成23年度
大阪府危険物安全大会
 6月10日(金) KKRホテル大阪



開会の辞を述べられる 藤岡巧一大阪府危機管理監

大阪府・(財)大阪府危険物安全協会共催、大阪府下消防長会協賛のもと、平成23年度大阪府危険物安全大会が6月10日(金) KKRホテル大阪(大阪市中央区)において開催された。

大阪府では、6月を危険物安全月間と定め、期間中に行う安全大会は、安全月間の主要な行事の一つで、危険物に関する保安体制の整備促進、安全意識の普及啓発、自主保安の考え方の徹底という目的を広く府民に訴えると共に、保安に尽力し顕著な功績を収めた方々に対し、大阪府知事の感謝状の贈呈、並びに(財)大阪府危険物安全協会理事長の表彰を行い、その功労をたたえるとともに記念講演会を行うものです。

今回は、総務省消防庁より危険物保安室課長補佐を迎え、府下の消防関係者、危険物事業所関係者、府民など約300名の参加があり、盛大に開催された。

また、全国でも毎年6月の第一日曜日から一週間を危険物安全週間と定め、危険物による災害防止を呼びかけています。

第1部式典の部では大阪府危機管理官による大阪府知事の式辞で始まり、知事感謝状の贈呈では、優良危険物関係事業所23事業所、優良危険物取扱者2名、危険物保安功労者1名にそれぞれ感謝状が贈呈されました。

続いて、財団法人大阪府危険物安全協会理事長表彰では、優良危険物事業所19事業所、優良会員事業所11事業所、優良危険物取扱者3名、功労役員3名、永年功労地区協会事務局員1名にそれぞれ表彰状が贈呈されました。

あわせて6月6日全国危険物安全大会で消防庁長官表彰受賞された森輝彦氏(茨木)、並びに(財)全国危険物安全協会理事長表彰を受賞された吉原真一郎氏(大東)、大久保八城氏(八尾)、嶋田美継氏(堺高石)、大阪ガス(株)泉北製造所第二工場(堺高石)の披露が行われました。

その後、消防庁長官祝辞、浅田均大阪府議会議長並びに大阪府下消防長会会長の祝辞等があり、三好治雄当協会理事長の閉会の辞で式典の部を終了しました。

第2部の記念講演会では、総務省消防庁予防課危険物保安室課長補佐中本敦也氏による「危険物行政の最近の動向について」の講演が行われました。

高精度油面計装置 (EECO)



- 装置の特徴：
1. 常時監視設備装置
 2. ネット残油量表示(15℃)
 3. 自動水検知量表示
 4. ローリー荷卸自動検知
 5. 販売出荷レポート
 6. パソコン管理システム

(財)全国危険物安全協会
 認定番号12・13号

常時監視装置は常に地下タンクの漏れの監視を行い、土壌汚染を未然に防止します。

業務内容 地下タンク漏洩点検、地下タンク埋設工事、地下タンク内清掃、ガソリン計量機の検定・整備・販売、給油機・メーター・ノズル機器等の販売
 危険物施設の油配管設備工事、危険物の保安点検・各種の巡回清掃
 危険物の各種消防手続、給油所の機器販売、地下タンク計測機器販売
 * 地下タンク点検の液相部・気相部の漏洩点検装置も販売しております。

ISO 9001 取得
<http://www.nssk.co.jp/>

日本スタンドサービス株式会社
 〒578-0911 本社/大阪府東大阪市中新開2-11-17
 TEL : 0729-68-2211 FAX : 0729-68-3900

財団法人 大阪府危険物安全協会 理事長表彰 受賞者

■優良危険物事業所 (19事業所)

▷(株)JOMOネットDr.Drive箕面中央店(箕面)▷塩野義製薬(株)新薬研究所(豊中)▷ムネカタホールディングス(株)(高槻)▷大和紙器(株)大阪事業部(茨木)▷瑞穂商事(株)(摂津)▷西日本旅客鉄道(株)近畿統括本部吹田工場(吹田)▷扇港樹脂工業(株)(交野)▷(株)ENEOSフロンティアDr.Driveセルフ守口店(守口門真)▷(株)マルカミ物流(大東)▷本城金属(株)(東大阪)▷日本合成洗剤(株)(八尾)▷大阪トナミ運輸(株)(松原)▷三栄基準寝具(株)(柏羽藤)▷(株)ディー・エム・ガスステーション金剛店(大阪狭山)▷(株)小林アルミニウム工業所(堺高石)▷阪上石油(株)高石給油所(堺高石)▷阪本薬品工業(株)泉北工場(泉大津)▷(医)誠人会与田病院(阪南岬)▷タイユ(株)(和泉)

■優良会員事業所(11事業所)

▷極東油業(株)片町給油所(大阪)▷斉藤塗料(株)(大阪)▷(株)加貫ローラ製作所(大阪)▷三成化工(株)(大阪)▷(株)ダイエーグルメシティ水無瀬店(島本)▷星ヶ丘厚生年金病院(枚方寝屋川)▷(株)ニューコマンダーホテル(枚方寝屋川)▷ナニワ紙加工協同組合(富田林)▷サン工業(株)(貝塚)▷(株)内原(泉佐野)▷(株)オークワスカイシティ泉南店(泉南)

■優良危険物取扱者(3名)

▷浅野年孝(河内長野)
▷古川正治(堺高石)
▷福島 保(岸和田)

■功労役員(3名)

▷樋山一郎(池田)
▷三屋喜三郎(四條畷)
▷中嶋啓文(大東市)

■永年功労地区協会事務局員(1名)

▷森下孝之(忠岡)

大阪府知事感謝状贈呈者

■優良危険物関係事業所(23事業所)

▷三國製薬工業(株)(豊中)▷大阪航空燃料輸送(株)大阪営業所(池田)▷(株)日本触媒吹田工場(吹田)▷(株)村上製作所(高槻)▷(株)帝人(株)大阪研究センター(茨木)▷東洋カーマックス(株)箕面船場給油所(箕面)▷サントリービジネスエキスパート(株)サントリー研究センター(島本)▷田中紙管(株)(八尾)▷象印マホービン(株)大阪工場(大東)▷佐川急便(株)関西支社東大阪店(東大阪)▷明

信石油(株)(東大阪市)▷ローバル(株)交野工場(交野)▷北村石油(株)(交野)▷パナソニック健康保険組合(守口門真)▷大洋輸送(株)(大阪)▷オーウェル(株)(大阪)▷高圧化学工業(株)(大阪)▷南海電気鉄道(株)千代田工場(河内長野)▷イオン製薬(株)(松原)▷青葉化学工業(株)(堺)▷神鋼アルミ線材(株)(堺)▷覚野石油(株)(岸和田)▷社会福祉法人光生会大阪ピープルハウス阪南(阪南岬)

■優良危険物取扱者(2名)

▷竹下時光(豊中)
▷小山雅之(大阪)

■危険物保安功労者(1名)

▷川口 修(大阪)

全国危険物安全大会



当協会理事長と表彰受賞者の皆様

消防庁、(財)全国危険物安全協会では、平成23年度全国危険物安全大会を6月6日(月)、東京都内の“スクワール麹町”において開催しました。

大会は久保信保消防庁長官、木下英敏(財)全国危険物安全協会理事長出席のもと、全国消防長会会長、都道府県消防主管課長会会長など多数の来賓を迎え関係者等約400名の出席のもと開催されました。

式典では、消防庁長官表彰、危険物安全週間推進標語最優秀作品入賞者表彰、危険物事故防止対策論文入賞者表彰、財団法人全国危険物安全協会理事長表彰、危険物保安技術協会理事長表彰が行なわれ、(社)群馬県危険物安全協会連合会堀口廣政会長による危険物安全大会宣言で式典が締めくくられました。

また、記念講演会では、明治大学 教授 北野大氏による「安全・安心な社会を目指して」の講演が行われました。

なお、当日、消防庁長官表彰、財団法人全国危険物安全協会理事長表彰の受賞者で財団法人大阪府危険物安全協会関係者は次のとおりです。

消防庁長官表彰受賞者

財団法人 大阪府危険物安全協会推薦分

■危険物保安功労者

▷森 輝彦(茨木)

財団法人 全国危険物安全協会 理事長表彰 受賞者

■会員表彰

▷吉原眞一郎(大東)

▷大久保八城(八尾)

▷嶋田美継(堺高石)

■危険物関係事業所表彰

▷大阪ガス(株)泉北製造所第二工場(堺高石)

危険物施設安全推進講演会開催

6 月 9 日(木) ホテルアウリーナ大阪で

全国危険物安全推進協議会では、6 月 9 日(木)ホテルアウリーナ大阪(大阪市天王寺区)で平成23年度危険物施設安全推進講演会を開催しました。この講演会は全国危険物安全週間の一環として行われたものです。

本年は、6 月 7 日(火)の東京会場と 9 日(木)の大阪会場の両会場で行なわれ、大阪会場では、約280名の危険物事業所関係者・消防関係者等が参加しました。

13時15分、総務省消防庁危険物保安室課長補中本敦也氏及び大阪府総務部危機管理室消防防災課長井順一氏による開会の挨拶の後、総務省消防庁消防大学校消防研究センター研究統括官山田實氏による「地震による危険物施設等の被害について～新潟地震から東北地方太平洋沖地震まで」の基調講演があり、引き続き、神戸市消防局北消防署予防査察係松本浩之による「温泉施設での配管腐食による重油流出～身近な施設の危険物の危険物災害～」及び横浜市消防局指導課危険係池田泰男氏による「危険物製造所の爆発事故とその後の規制について～審査基準としてのリスクアセスメントの導入～」の 2 件の事故事例報告があり、16時過ぎに講演会を終了しました。

「産業廃棄物事業所及び危険物 関係事業所の事故等について」

枚方寝屋川消防組合 警防部保安対策準備課

全国で排出される産業廃棄物は年間約 4 億トン、一般廃棄物は約5,000万トンを超えているといわれています。これら廃棄物の処理やリサイクル工程では様々な火災や爆発が発生し、また、大量の廃棄物が集積されているため、鎮火に長時間を要する場合があります。

例えば R D F 貯槽の爆発、鎮火に13時間を要した廃タイヤやタイヤ裁断チップ置場の火災、産業廃棄物中間処理会社に野積みされた廃木材の火災で40時間後に鎮火した事例などがあります。

本消防組管内でも、例外ではなく一般廃棄物の破碎工程やパッカー車、産業廃棄物処理施設で火災等が発生しております。

その中で、平成17年に発生した産業廃棄物の中でも特別管理産業廃棄物の収集運搬施設で発生した爆発火災をご紹介します。

工業専用地域に指定された敷地面積774㎡、平屋建準耐火造約386㎡の建物で産業廃棄物（主に廃溶剤等の化学物質）を回収し処理場へ搬送する中継業務を営む作業所で発生しました。

- ・ 出火時間 平成17年10月26日22時11分頃
- ・ 覚知時間 平成17年10月26日22時20分
- ・ 鎮圧時間 平成17年10月26日23時37分
- ・ 鎮火時間 平成17年10月27日 6 時30分
- ・ 被害状況

人的被害 死亡 1 名 軽傷 1 名
物的被害 全焼 4 棟 部分焼 1 棟
飛散物、爆風による被害

破損車両68台、破損建物61棟

- ・ 活動状況
- 第 2 出動 平成17年10月26日22時21分
- 特命出動 平成17年10月26日22時31分
- 第 3 出動 平成17年10月26日22時34分
- 特命出動 平成17年10月26日23時11分
- 出動総数 23台 92名

発生と同時に連続して2回の爆発があり、次に大きな3回目の爆発があり、現場到着時出火建物の屋根材(カラー折板)、壁材(カラー鉄板)は吹き飛んでおり、主要構造材の鉄骨のみが残存しており、大量のドラム缶等が小爆発を繰り返し延焼し、ドラム缶等の内容物の性状特性が確認できない状況の中で、初期には延焼防止を中心とした警防活動を実施し、化学車が集結した時点から、出火建物を泡消火剤を主体とした放水体形で包囲し、鎮火に至りました。

・原因

当該建物は、特別管理産業廃棄物の収集運搬業者が2社占有しており、そのうちの1社の作業員1名が作業中に爆発が発生したもので、作業員が死亡しているため、どのような作業が行われていたかは不明ですが、建物内の事務所にいた他の1社の関係者2名の供述から、容器からの移し替えが行われており、その過程で何らかの化学反応が起き爆発が起こったものと推測されます。コンクリートの床にはこの爆発による陥没痕があり、この爆発の大きさを物語っていました。

ご紹介した事例では、化学反応により爆発火災が発生したと推測されますが、廃棄物によっては蓄熱や発酵発熱、金属粉を含んだ廃棄物の水との接触などの原因が報告されており、また、有害な廃棄物が含まれている可能性もあり、予防上の観点はもちろんのこと警防上の観点からも注意が必要です。

特別管理産業廃棄物に関しては、日により回収される廃棄物が様々であり、それが危険物又は指定可燃物に該当するのかの判定が困難ではありますが、本消防組

合では過去の経験から廃棄物処理施設の査察時には、回収されている廃棄物の確認など施設の状況把握及び関係者への防火指導を徹底させています。

一方、危険物に係る事故に関しては、本消防組合管内では平成22年度は火災が3件発生しており、施設別では、製造所2件、少量危険物貯蔵取扱所1件、原因別では、管理不十分2件、設計不良1件、着火原因別では、静電気2件、その他1件となっております。

なお、本消防組合での過去のデータから危険物に係る事故の約77%が危険物施設で発生し、その約52%が管理不十分等の人的要因で発生しているため、自主保安体制の確立等ソフト面の指導を強化しております。

危険物の流出に関しましては、本消防組合管内では今のところ顕著な増加は見られないものの、地下貯蔵タンクについては、埋設後長期間経過したものが多数あり、平成23年2月1日に施行された「直埋設された鋼製一重殻地下貯蔵タンクの流出防止対策に係る経過措置」が終了する平成25年1月31日までに、該当する施設への立入検査を順次実施し指導していくこととしています。

また、事業所に対して、新たな危険物を使用した多品種な製品製造をする場合の、危険要因の把握などの研修会等を実施するなどの指導も強化する必要があります。

おわりに、廃棄物及び危険物に係る災害は、市民にも大きな被害を及ぼす可能性が高く、また、環境汚染など社会的影響も大きいことから、市民の安全・安心を守るために、事業所に対するきめ細やかな防火指導を行っていかねばならないと考えております。

都市との共存 — 正確 安全 確実 — 危険物設備なら信頼の技研。

危険物タンクの漏洩検査

〈平成16年4月1日法改正対応〉

- 危険物設備の設計・施工
- 発電設備(非常用)燃料タンクの製造・販売
- 危険物タンクまわりの付属機器の販売

危険物設備の安全をトータルにリードする

株式会社 技研

〒663-8113 兵庫県西宮市甲子園口2-24-12 TEL.0798-65-5100(代表)

GIKEN

安全への道 118

明日かも知れない
巨大地震の備え(財)大阪府危険物安全協会
専任講師 三村和男

3月11日、2万数千人の命が奪われた未曾有の東日本大地震から3ヶ月半がたつ。

福島第一原発では、短時間ではあるが原子炉建屋に入って点検ができるようになってきた。しかし、原子炉の低温停止、地下にたまった高濃度汚染水の処理に苦慮。警戒区域の多くの住民は避難を余儀なくされている。

今回の震災では、巨大津波と原発事故に情報が集中しているが、M9の地震だけだったとしたら、原発の過酷事故は回避できただろうか？女川原発は過酷事故は回避できたが、福島原発もそうだと断言できるだろうか。今後の検証に待つしかない。

例えば、福島原発の場合、津波による非常用発電設備の機能喪失がなければ、炉心融解、水素爆発は起きなかったと言えるだろうか。なぜならば、非常電源設備の故障、破損による運転不能？冷却配管の変形、破損による漏洩もあり得るであろう。原子炉、タービン建屋関係の排水系の破損は全くないのか？など。可能な限り早期検証が必要である。

では、石油コンビナート等における危険物施設等に関する被害はどうだったろうか。現在、関係機関で被害に関するアンケート調査が実施されているのでその結果を待つしかないが、最近になって大型石油タンク等の被害状況が写真を主に発表されている。

そこで危険物施設等で地震による漏洩・爆発・火災および構外流出といった重大事故につながる危険性の高い大型の石油貯蔵タンクに関して次の2点を考えたい。

その1つは、LPG貯蔵タンクの火災事故である。この事故は、地震によりタンクの脚が座屈、倒壊し、周辺のLPG配管が破損し漏洩、爆発炎上したものである。火災は延々40数時間に及んだ。

同タンクの事故直前は、内部点検終了後のタンク内の空気を置換するための水が張られた状態だったよう

だ。LPGより比重の大きい水を張った状態で地震動を受けたため脚は設計以上の荷重がかかり座屈したと推定されているが、脚の腐食劣化の影響はなかっただろうか？水とLPGの比重差に相当する水張り量を減らす置換方法もあるが事前に検討されていたかどうか？

現在、社外専門家を入れた事故調査検討会で原因究明中である。

なお、LPG貯蔵設備について思い出すことがある。日本の製油所、石油化学工場の保安管理を20年間に亘ってみてきたというラルフ・ディアエンジエロ氏*が、総合安全工学研究所での安全講演(1998年)の中で次のような印象を述べているので参考までに紹介しておきたい。

「1966年、フランスのフェザン、1984年メキシコシティにおけるLPG貯蔵タンク施設の大災害などを教訓に世界では、同施設の考え方が変化した。球型タンクの直下に漏洩箇所となりやすいフランジを極力設置しないこと。

万一、漏洩が発生しても漏れたLPGが迅速に排除できるよう床面に傾斜をつけること。これらに関し日本ではあまり配慮されていない」と述べている。現況は？

いま1つは、大容量の石油貯蔵タンクの液面揺動(スロッシング)による浮き屋根式タンクの浮屋根の破損、沈没によるタンクの全面火災の問題である。新潟地震(1964年)、十勝沖地震(2003年)ではスロッシングによるタンク全面火災が起きている。今回は起きていない様だ。

スロッシングの問題は、長周期地震動観測記録技術の研究により、この30年間で格段の進歩をしたといわれている。その観測記録と経験的手法に基づき特に揺れやすい地域の特長、浮屋根の地震動による強度計算も可能となり、05年の消防法改正に組み入れられた。

専門家、設計技術者は、今回のスロッシングを徹底検証し、得られ教訓を情報発信する責務がある。次の巨大地震に備えるため。

*米国の保険会社上席副社長



カンナ
花言葉: 尊敬

第1期 保安講習(法定)
空席会場は受付を実施

この講習会は、消防法第13条の23に定められた法定講習です。

事業所等で危険物取扱者の免状をお持ちの方が、危険物の取扱作業に従事している場合は、定められた期間内(原則として3年以内ごと)に保安講習を受講しなければなりません。

平成23年度の保安講習の第1期分が6月21日(第1回)よりすでに開催されていますが、7月28日(第18回)までの間にまだ空席のある会場もあります。

については、6月20日現在で空き席のある会場をご案内します。

受講申請書について

平成23年度の保安講習開催案内(受講申請書など)は府下消防本部及び各消防署(予防課又は予防係)に置いてあります。

空席のある会場を確認の上(電話06-6538-1935)、来所又は郵送受付をしてください。受講手数料は4,700円です。また、インターネットから当協会HPで申請書をプリントすることもできます。

<<6月20日、現在で空き席のある日程>>

Table with columns: 一般の部, 回, 実施日, 曜日, 講習会場, 開始時間. Includes rows for dates like 7月8日, 7月12日, etc.

*第2期(9月~10月の会場)については、右予定表のとおり8月24日から郵送受付を開始します。

・注意事項等

- ① 各講習会場共に定員制です。ご希望の講習会場が定員に達するまでは、第1希望で決定し、定員に達した場合は、第2希望の会場に振替し、受講票をお送りします。
② 受講票(決定通知)と、免状を持って受講してください。なお、テキストは会場でお渡しします。
③ 講習終了後、免状に受講済の大阪府知事証印を押印してお渡しします。

(問い合わせ先)

〒550-0013 大阪市西区新町1-5-7(四ツ橋ビル8階)

財団法人 大阪府危険物安全協会
電話 06-6538-1935

平成23年度 保安講習会予定表
(第2期~第4期)

Table with columns: 受付期間, 郵送受付, 持込受付. Includes dates like 2期 8月24日(水)より, etc.

Main table with columns: 受付期間, 一般の部, コンビナートの部, タンクローリーの部. Includes sub-tables for 2期, 3期, 4期 with columns: 回, 実施日, 曜日, 講習会場, 開始時間.

- 注 1. 諸般の事情により変更となることがあります。
2. 各会場とも駐車場は使用できません。ただし、会場欄中*印は有料駐車場があります。
3. 講習時間は3時間です。

これからの準備講習会について

当協会これから行う23年度中の受験準備講習は下記表の通りです。

（財）消防試験研究センター大阪府支部で行う試験に合わせて甲種、乙種第4類及び丙種の受験準備講習会を行いません。

準備講習会では、経験豊富な講師陣に分りやすい講習を行っています。その為、講習受講者は毎回高い合格率を修めております。

平成23年度 危険物取扱者 受験準備講習会 予定表

	種 別	種 別	種 別	種 別	
第 3 回	甲 種	9月12日(月)、9月15日(木)、9月20日(火)	10時～16時30分	天満研修センター	
	乙 種 第 4 類	1 コース	9月13日(火)、9月14日(水)	10時～16時30分	大阪府商工会館
		2 コース	9月21日(水)、9月22日(木)	10時～16時30分	天満研修センター
		3 コース	9月20日(火)、9月21日(水)	10時～16時30分	堺市民会館
		4 コース	9月15日(木)、9月16日(金)	10時～16時30分	枚方市市民会館本館
		5 コース	9月13日(火)、9月14日(水)	10時～16時30分	茨木市福祉文化会館
		土曜コース	9月17日(土)、9月24日(土)	10時～17時	新梅田研修センター
		日曜コース	9月18日(日)、9月25日(日)	10時～17時	新梅田研修センター
		土日Aコース	9月17日(土)、9月18日(日)	10時～17時	新梅田研修センター
	土日Bコース	9月24日(土)、9月25日(日)	10時～17時	新梅田研修センター	
丙 種	9月26日(月)	9時30分～16時30分	四ツ橋ビル		
第 4 回	甲 種	11月11日(金)、11月15日(火)、11月17日(木)	10時～16時30分	新梅田研修センター	
	乙 種 第 4 類	1 コース	11月10日(木)、11月11日(金)	10時～16時30分	新梅田研修センター
		2 コース	11月14日(月)、11月15日(火)	10時～16時30分	大阪府商工会館
		3 コース	11月9日(水)、11月10日(木)	10時～16時30分	堺市民会館
		4 コース	11月16日(水)、11月17日(木)	10時～16時30分	泉佐野市消防本部
		5 コース	11月21日(月)、11月22日(火)	10時～16時30分	ノバティながの南館
		土曜コース	11月12日(土)、11月19日(土)	10時～17時	新梅田研修センター
		日曜コース	11月13日(日)、11月20日(日)	10時～17時	新梅田研修センター
		土日Aコース	11月12日(土)、11月13日(日)	10時～17時	新梅田研修センター
	土日Bコース	11月19日(土)、11月20日(日)	10時～17時	新梅田研修センター	
丙 種	2月3日(金)、2月7日(火)、2月9日(木)	10時～16時30分	大阪府商工会館		
第 5 回	乙 種 第 4 類	1 コース	2月2日(木)、2月3日(金)	10時～16時30分	天満研修センター
		2 コース	2月6日(月)、2月7日(火)	10時～16時30分	大阪府商工会館
		3 コース	1月30日(月)、1月31日(火)	10時～16時30分	堺市民会館
		土曜コース	2月4日(土)、2月11日(土)	10時～17時	天満研修センター
		日曜コース	2月5日(日)、2月12日(日)	10時～17時	天満研修センター
		土日Aコース	2月4日(土)、2月5日(日)	10時～17時	天満研修センター
		土日Bコース	2月11日(土)、2月12日(日)	10時～17時	天満研修センター
		丙 種	2月13日(月)	9時30分～16時30分	四ツ橋ビル

(注) 各講習とも初日は開講時間の15分前からガイダンスを行いません。

受講料及びテキスト送料

① 受講料(消費税を含んでいます。)

・甲 種	会 員	会 員 外
	16,800円	18,900円
・乙 種 第 4 類	コース別	会 員 外
	1～6コース	12,600円 14,700円
	土曜・日曜 土日コース	13,650円 15,750円
・丙 種	会 員	会 員 外
	6,300円	7,350円

- (注) 1 受講料にテキスト送料を加えて払込んでください。
 2 財団法人大阪府危険物安全協会加盟協会会員(会員事業所の社員を含む)は会員価格となります。
 3 大学、高校及び各種専門学校(の学生については学

生割引として受講料は会員価格にいたします。
 ・学生証のコピーを受講申込書に添付して送付してください。

- ・持込受付される場合は、申込時に学生証(コピー可)を提示してください。
- 4 詳細につきましては、06-6531-9717までお問合せください。
- 5 申込終了後、理由の如何を問わず返金はいたしません。

② テキスト送料

甲 種 及 び 乙 種 第 4 類	1人分	500円
	2～5人分	600円
	6～10人分	800円
丙 種	1～6人分	500円

(※2人以上の場合は、一括して1ヶ所にお送りする送料です。)

お申込みは郵送(郵便払込)又はインターネット(銀行振込)で

1. 受講申込方法

- ① 郵送によりお申込される場合
 - a 受講申込書「合格への近道!」を、大阪府下の所轄各消防本部及び各消防署予防課でもらって手続きください。
 - b 当協会(電話06-6531-9717)に直接ご請求いただければ送付いたします。
- ② 持込でお申込みされる場合
 - a ご希望の講習日(各コースの初日)の前日まで当協会事務所(大阪市西区新町1-5-7、四ツ橋ビル8F)で受付いたします。
(ただし、土・日及び祝日は業務を行っておりません。)
 - b 申込手続は代理の方でも結構です。

- ③ 乙種免状交付後、2年以上の危険物取り扱いの実務経験者
- ④ 次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている者
 - ・第1類又は第6類
 - ・第2類又は第4類
 - ・第3類
 - ・第5類

乙種：受験資格の制限はありません。

丙種：受験資格の制限はありません。

4. 願書及び受付期間

書面申請(郵送又は持参)

第3回	9月1日(木)～9月8日(木)
第4回	10月26日(水)～11月2日(水)
第5回	1月12日(木)～1月19日(木)

- ※1. 持参する場合は9時30分～16時30分まで
- 2. 願書提出先は、下記問合せ先住所です。

電子申請(インターネット申請)は、上記書面受付日の初日の3日前の9時から、最終日の3日前の17時までとなっています。

また、電子申請(インターネット申請)では手続きできない場合もありますので、詳細については下記ホームページを参照してください。

(<http://www.shoubo-shiken.or.jp>)

今後の危険物取扱者試験について

今後、大阪府下で行なわれる危険物取扱者試験は下記の予定です。

1. 試験日及び試験会場

第3回	平成23年10月2日(日)	国立大阪大学(豊中市)
第4回	平成23年12月3日(土)	国立大阪大学(豊中市)
第5回	平成24年2月19日(日)	国立大阪大学(豊中市)

2. 試験の種類及び実施時間(30分前に試験室に入室のこと)

- ① 午前の部 10時～
乙種第4類
- ② 午後の部 13時30分～
甲種、乙種第1～6類、丙種

3. 受験資格

- 甲種：① 高専・短大及び大学で化学に関する学科又は課程を卒業し者
- ② 高専・短大及び大学で化学の授業科目を15単位以上取得した者

☆問い合わせ先

〒540-0012 大阪市中央区谷町2-9-3
 ガレリア大手前ビル2階
 (財)消防試験研究センター 大阪府支部
 TEL 06-6941-8430

府下消防関係人事異動

平成23年5月16日付で発令されました府下消防本部の消防長の人事異動は次のとおりです。

- 柏原羽曳野消防組合消防本部
- ・消防長 河井 賀文(消防長代理兼次長)

鋼製地下タンクFRP内面ライニング施工事業

鋼製地下タンク内面の腐食、防食措置としてFRPライニングの技術が実用化されてきています。当社では、FRPの持つ高度な耐食性に着眼し、使用される環境に応じて、最適な材料設計と構造設計を行います。

皆様のお使いになる設備の長寿、安全化に貢献し、その加工技術は多方面から高い評価を受けています。老朽化に伴った腐食、劣化が進み、危険物の漏えいによる土壌及び地下水の汚染等の被害を未然に防ぐ為にお勧めします。

※仮設タンク常備の為、ボイラーを止めずに工事を行えます。

事業者認定番号 ライニング第2701号

有限会社 三協商事

その他、危険物施設施工工事・危険物施設法定点検・危険物貯蔵所等中和洗浄工事及び廃止工事・産業廃棄物収集運搬業



大阪府大阪市港区弁天6丁目5番40号
 TEL 06-6577-9501 FAX 06-6572-8058
<http://www.e-sankyoshoji.co.jp>